

FLORE21 ホットニュース

池袋サンシャインで「第72回関東東海花の展覧会」は開かれています。

久しぶりに訪れたのですが、出品されている花の数がぐっと減っていました。以前は1人1品種の制限があったのが、そうすると会場が埋まらないので1人何品種出品してもよくなったそうです。そうです、出品する生産者が減っているからです。会場で会った生産者さんの話では、コロナ前と比べると3000件の花き生産者が減っているとも。

とびきり美しい花に惚れ惚れとしながらも、業界の将来を考えさせる展覧会でした。

今週のホットニュースは、

○大田店 かわいい可愛いバラとカーネーション

○世田谷店 パンジー・ビオラ 100選 ふなばしアンデルセン公園

○葛西店 「芸術とは」 むずかしい? いえ 「わからない・・・」

○会長小池のコラム(過去記事) 周りを見ることの重要性。それを習慣化すること以上の3レポート+1です。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

大田店ほりえです

寒い日が続いています

とても寒いですが、わたしにとっては花がかわいくて一番楽しい季節です!

最近店頭で見つけたかわいいカーネーションとバラをご紹介します



エマーブルホワイト (ST咲)

JAひまわりバラ部会

(愛知県 豊川市)

とっても素敵なグレーホワイトです!
ステムが華奢な感じも雰囲気があって
とてもよい!

咲き方もすごくきれいですね~

しっかり水あげして使ってくださいね

♡



アラヤ (SPバラ)

ローズマート出荷組合 (愛知県田原市)

思わず「あらやだ～」と言いたくなってしまふかわいさです

出荷量はまだ少ないですが巻きが多くて、春に活躍してくれそうな色合いです。

巻きが多いのもよい！

*注*わたしの手ではありません*



みちくさ (SPバラ)

ローズマート出荷組合

こちらはローズマート出荷組合のオリジナル品種です！

勘のよろしい方はお気づきだと思いますが、同じくローズマートオリジナルの「エコ」の枝変わりです。

赤～オレンジの複色で、エコと同じく日持ちがすばらしいですよ





ドレープ (ST咲)

山崎園芸 山崎竜典さん
(愛知県西尾市)

とってもすてきです！
この紫？ピンク？から白く抜ける感じに
フリル感と巻きの多さも相まって、なんとも
いえないグラデーション！

フローレ大田店ではおなじみ、品質抜群の
山崎園芸さん作なので、まちがいなし！
ですね♡



ちょこ抹茶



デニムブルー(精華園 岩田秀一さん)

こちらは大田店のカーネーションのラインナップには欠かせない千葉県南房総市の岩田秀一さんの染めシリーズの新品種！

大ヒットしたエメラルドブルーやユカリライトブルーに続いての新品種？ ですよ
そのほかにも 「オペラ座の怪人」 や 「ソフィアブルー」 「メロンパン」 など
いろいろ試行錯誤して出荷していただいています

おすすめ商品や新しく出荷になった品種などはフローレ21のInstagramでも随時紹介させていただいているので、ぜひのぞいてみてくださいね！

フローレ21 大田店 堀江 麻理

おまけ

上記で紹介させていただきました**精華園 岩田秀一さん**が
第72回関東東海花の展覧会で、**農林水産大臣賞を受賞されました！**



2019年に台風でハウスが全滅してしまい、一度は廃業されることも考えられて、でも復活して、その道のりをずっと見ていたので、なぜかわたしまで感無量（涙）

本当におめでとうございます！

こちらが農林水産大臣賞を受賞した「ソフィアローズ」

お見事です！

世田谷店おすすめ

早いもので2024年もあと少して1カ月を過ぎようとしています。

今年は暖冬傾向との事ですが、昼間のお日様の下は暖かいのですが、朝方6時前後は極寒ですね・・・。

去年は、店頭のお花のお水が凍ってしまったりする日がありましたので、その様な寒い日がこない事を祈ります。

今回は、千葉県は船橋市にあります、ふなばし アンデルセン公園に行ってきました。

アンデルセン公園では、1年中お花に溢れていて、子供にも大人にも楽しめる公園に

なっています。

僕が行ったのは、年明後の週末でしたが家族連れやカメラを持ってお花を撮っているカメラマンが多くいました。



童話作家H.C.アンデルセンの故郷デンマークのオーデンセ市を再現している様でたくさんチューリップのデンマークが植えられていたので、後で調べてみたらそういうことかと納得しました！！

僕の行った時は、

「パンジービオラ 100 選」
が開催されていたので、その
時に見てきた、おしゃれなパンジ
ーとビオラをご紹介します。



アールヌーボー カリビアンバイオレット



フリンジで花形がボール状
花持ちも良さそうで長く楽しめる品種です。

色に個体差あり、アンティーク色がおしゃれです



アールヌーボー イエロー



アールヌーボー ラベンダー



アールヌーボー ペチコートアソート



上弁のフリンジとレモンイエローの下地に濃淡の紫色が楽しめる品種です。



和モダンクラシックカラー スモーキーブルー

フリンジもあり、不思議な色合いのピオラになっております。

個体差があるのでスモーキーブルーといっても右のようなアンティーク色の場合があります。



和モダンクラシックカラー 京紫

和モダンクラシックカラー 瑠璃色



フローラルパワー
マリーナ



↓ビオラの絨毯の上で咲くチューリップがとても綺麗でかわいらしかったです。





こちらのパンジー・ビオラの展示は、5月上旬までやっています。

2月17日からは、クリスマスローズの展示も始まります。

お時間がありましたら、お花に癒されに行ってみてはいかがでしょうか。

世田谷店 齋藤

仕入れの素★葛西店

『むずい』

~~~~~ コンセプト ~~~~~

わたしたちは日夜、研究と実験を繰り返しています。

それは、制作や実践を伝える手引きとなる、展開図を作る作業にも似ています。

展開図は、組み立てるための説明や試行の軌跡であり、

組み立てたものを紐解くための解説でもあるからです。

その中には、それぞれが見つけたゴールと、生み出した方法があります。

その多様さこそが、わたしたちの特徴です。

本年度の卒業・修了展のテーマは「展開図」

それはわたしたちの軌跡であり、これからの道標。

~~~~~



先日、武蔵野美術大学の卒業展に行ってきました。
造形構想学部クリエイティブイノベーション学科
の卒業・修了制作展。

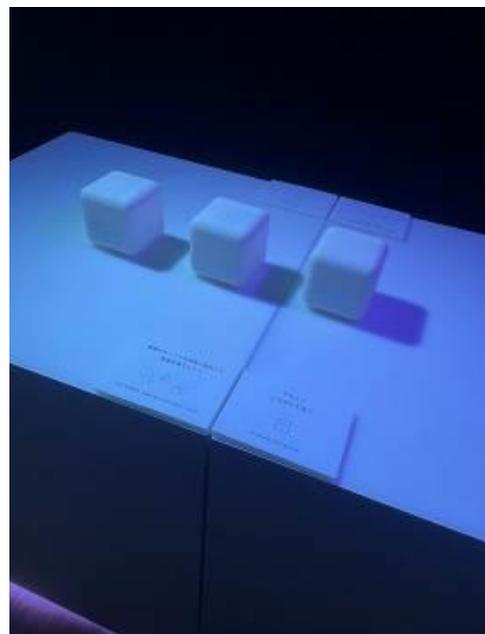
何の勉強するとこなのかわかりません！！

クリエイティブイノベーション学科（CI 学科）は
「創造的思考力を実社会で生かしていくために、総合的な造
形教育と現代社会・産業に対する広範な知識の教授を基盤
として、各専門領域において、既存の考え方にとらわれず、
自ら課題を発見し、新たな解決策や価値を導き出す実践的
な知恵を修得することを目指す学科」

だそうです。

今回の CI 学科の卒業展のテーマが冒頭の「展開図」。

上記のコンセプト・テーマ・学科の特徴を頭に入れて、少しですが卒業生の作品をご
覧ください。





「……わかんねえ」

それぞれの作品には題名と解説っぽい文章が書かれているのですが……
ちょっと私にはクリエイティブ思考が備わってない様で、激むずでした。
さっぱりわかりませんでした(笑)。

そんな中！！！！



フローレ 21 葛西店のショップでアルバイトしてくれている子の作品！！
今回のお目当て発見です。

作品名 【 *B ALIEN* 】

異質で枠から外れたような存在 alien であったとしても、
その異なる存在としての魅力は醜いものではなく、
むしろ新しい価値を生み出す美しいものだ



素敵な作品じゃないですか！！

花材を新しい素材に加工して、その新しい素材
として生まれ変わった花材でエイリアンを表
現している感じ？

この作品は今回の制作展で【奨励賞】を受賞したそう
ですよ！！

大変だったろうけどよく頑張ったな！RION！！（←名前）
俺も頑張らないと！！！！

葛西店 茂木

今年も鬼のような数のミモザの注文がくるのかな・・・？





会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「どこまで見えているか」(2014年01月31日号より)

我々の仕事の中でもっとも大事なものを挙げよと言われれば、それぞれが「どこまで見えているか」これに尽きるように思う。

ヒマラヤの6000m超えに登った人の話の中で、案内人のシェルパーはふりそぞぐ太陽の光の中なのに「今日は星がきれいだ」と言った。何十キロ先に雪崩が起きていること、その先に登山者がいること。登山者に見えないものまで見える。その視力は一流のシェルパーの証であり、お客の命を守る武器でもある。

日本でも「山見」という職業があった。海岸べりの小高い山の上から海を見続ける。鯉漁であれば鯉の群れには必ずカモメの群れが鯉と共に移動する。「山見」は5km先のカモメの群れも見逃さない。見つけるとドラや太鼓を鳴らし出漁するのだ。

「山見」の本当の仕事は鯨だ。これは鯨が背中から噴き上げる海水を漁期の間見張るそうだ。いずれも5kmから10km先まで見続ける。

今日の私の本題は視力を競うことではない。

野球のポジションで捕手は自分以外の8人の動きを絶えずチェックし、指示を出す。バッテリーによって守備位置の変更、投手の投げるボールによっても、ランナーによっても。そればかりではない、ヤクルトに長く在籍した古田敦也は巨人の仁志が出塁して、2塁へ盗塁する時、えくぼを作るそうだ。古田は30m先の小さなえくぼまで見逃さずに、仁志の盗塁を刺したそうだ。

昨年ヤクルトを引退した宮本信也はこんなことを言った。楽天との交流戦でヤクルトのミレッジが遊ゴロを打った。松井稼頭央はボールをはじき一塁への送球をあきらめてしまった。しかしミレッジは転倒して、松井が一塁へ投げてもアウトを取れた。PL学園の後輩でもある松井はなぜ投げなかったのか、宮本が聞いた。松井にはランナーが見えていなかった。

宮本は誰にでも見えるものだと思っていて、見えてないことに驚いたと言った。視野を広げるのに宮本は「意識の問題、意識していれば歩いていても周りが見える、視野の狭い選手は全てのプレーに全力を傾けすぎる。足の遅い選手なら打球がきても、前に出ずにしっかり待ってから取ってもアウトにできる」

いずれもどれだけ全体が見えているかで最善の行動を起こすことができる。

